



篠 浩司

安心安全について

問 ①水害のこれまでの想定と最近の豪雨災害等に見られる新たな課題と対応は②避難所の暑さ対策について現状・課題とその対応は③避難所のアレルギー対応について、誤食の無いよう備蓄食にどういった対応が可能か④コミュニティFM局が立ち上がった場合、市の安心安全にどの様な効果と考えられるか。市としての取り組みをどう考えるか⑤デジタル地図を通学路の安全対策でどのように活用するのか。

答 ①重要水防箇所だけに注視せず、どの場所でも起こりうるとの意識を持つこと。避難指示に従わない方々への対応が新たな課題②こまめな水分補給を促すなど。根本的な暑さ対策は有効な手だてが見出せていない③わかめご飯のみの対応も有益な予防策だが、対応食の多様化も含め検討したい④被災地での実績もある。情報伝達手段として有効なツール⑤交通安全からの視点に加え、不審者情報や見守りが十分に行き届いていない箇所に関する情報を反映させる。

安心で安全なまちづくりのために

問 ①東京2020オリパラ開催時の熱中症対策について対策を検討しているのか②オリパラのボランティアについて市ではボランティアの管理と熱中症対策は考えているのか③路面下空洞調査結果はどうだったのか。結果に対する対策は行ったのか④本年夏の強風により、市で管理している樹木の倒木等で被害があったか。また対策は行ったのか⑤松原市長は自衛隊との関係について今までもおりに継続を考えているのか。

答 ①東京2020大会に向けた東京都「暑さ対策」推進会議で検討が進められている。また、狛江市では熱中症対策舗装の採用予定はないが、東京都等の動向を注視したい②熱中症を含む救急対応を学ぶ講座など、安全に活動できる環境整備に努めていく③18カ所の空洞が報告され、4カ所は昨年度中に修繕。その他は今年度中に対応④強風による倒木はあったが、周囲への被害なし。危険な樹木の把握に努め、必要な措置を講じている⑤今後も更なる連携を密に図っていく。



栗山 剛

市長の政治姿勢について

問 ①ハラスメント等の人権への認識②働きやすい職場環境づくりへの思い③意識教育への指示は④税金滞納者に寄り添った相談体制を⑤前市長は野党への答弁を差別化してたが見解は。

答 ①人権侵害のないまちづくりを進める②所信表明のとおり意識教育に努める③管理職対象の研修等実施を指示④他部門との確に連携しやさしい納税相談⑤市民のためになるかの視点から真摯に答弁していく。

市民サービスの向上へ

問 ①市役所西側の門扉の閉鎖理由②利便性や歩行が困難な方等に配慮した検討は③歩行者等に限定した利用を④地域・地区センターの休館日の変更の要望がある⑤劣化した市発行カードの引き換えを。

答 ①自転車と歩行者の接触など危険性排除のため②ポール等の設置も検討③看板設置は効果がなかった。現状では難しい④運営協議会正副会長会議等で意向を伺い協議⑤引替交付が可能となる対応を検討。



西村 あつ子

豪雨や震災でも死者を出さない対策を

問 ①豪雨災害の際の福祉避難所の収容人数は②水害を想定した避難訓練をすべきでは③防災行政無線が家中で聞こえる戸別受信機の整備を④倒壊対策としてブロック塀の撤去への補助を進めていくべきでは⑤日野市で行われている高齢者や障がい者などへ家具転倒防止器具の配布、設置助成を作るべき⑥市民負担を減らすために木造住宅耐震化助成を上乗せすべき⑦避難所となる体育館へのエアコン設置を進めるべき。

答 ①多摩川氾濫では396人②実効性のある訓練を検討③財政的なことも含め、様々な方法の一つとして検討④総合的に検討していきたい⑤中越地震での経験を踏まえ、効果も含めて検討⑥他市の状況や都や国の補助制度を踏まえ、平成31年度の予算編成に向けて検討していく⑦次期公共施設整備計画の課題として認識。



岡村 しん

他に、狛江市での民泊対策について質問

答 ①多摩川氾濫では396人②実効性のある訓練を検討③財政的なことも含め、様々な方法の一つとして検討④総合的に検討していきたい⑤中越地震での経験を踏まえ、効果も含めて検討⑥他市の状況や都や国の補助制度を踏まえ、平成31年度の予算編成に向けて検討していく⑦次期公共施設整備計画の課題として認識。



三角 武久

安全かつ良質な公共サービスの提供について

問 災害時に液体ミルクはお母さんの頼れる非常食であり、我が子を守るスーパードラッグストアの必要性を考え、緊急調達するための協定を提案する。どのような姿勢で臨むのか。狛江市の見解は。

答 ようやく製造・販売が解禁される。確保に向けて協定締結や相互応援協定締結自治体との連携を前に検討していきたい。スーパードラッグストアとは協定締結済み。薬剤師会と今後調整したい。

児童虐待防止推進活動について

問 ①児童福祉司一人あたりの担当ケースは②警察並びに児童相談所からの児童虐待通告状況③児童虐待のあった家庭の転入時の引継状況④養子縁組への取組状況⑤里親制度の広報・普及のための市の取組状況。

答 ①現状40ケース相当となるよう設定②29年度警察から0件、児童相談所5件③支援等情報の提供を受け支援開始④都内28年度末養子縁組里親229家庭、委託家庭38家庭と報告されている⑤パネル展等実施。

人にやさしい魅力あるまちづくりの実現に向けて

問 ①多摩川に対する今後の発展は②試験的に施行された多摩川河川駐車場の今後の方向性は③ほかほか広場の整備について今後の考え方は④市は商店街の活性化をどう考えているのか⑤特殊詐欺の課題は。

答 ①多摩川の魅力を高め、費用対効果等を総合的に検討③庁内で議論し、考え方をまとめる④多様化するニーズへの対応や販売促進を支援⑤還付金詐欺等防止のため自動録音機の財源確保。

狛江の教育

問 ①新学習指導要領改訂に伴う小・中学校の今後のスケジュールは②プログラミング教育の現状は③働き方改革とのバランスは④インクルーシブ教育についての考えは⑤特別支援教育の課題と解決策は。

答 ①それぞれ2年後、3年後から本格実施②環境整備と授業づくりから支援③教員の資質向上のための研修時間を確保等④学級で社会性を身に付け認め合える集団実現⑤個々の教育的ニーズ把握と適切な指導等。



谷田部 一之

ほかほか広場への障がい者施設整備について

問 グループホーム増設等は、ほかほか広場に固執せず分散型整備等検討すべき。石井市政時代のまちづくりの誤りを謝罪すべき。面的整備や分散型整備の方法もあることは承知しているが、現在係争中のため、答弁は控える。

答 市民センターの増改築で図書館・公民館の充実を図る。市民センターを考えると、市民センターの増改築は、図書館・公民館充実への市民の願いが詰まっている。最大限尊重してほしい。

市民サービスの向上へ

問 市役所西側の門扉の閉鎖理由②利便性や歩行が困難な方等に配慮した検討は③歩行者等に限定した利用を④地域・地区センターの休館日の変更の要望がある⑤劣化した市発行カードの引き換えを。

答 ①自転車と歩行者の接触など危険性排除のため②ポール等の設置も検討③看板設置は効果がなかった。現状では難しい④運営協議会正副会長会議等で意向を伺い協議⑤引替交付が可能となる対応を検討。



鈴木 えつお

市民サービスの向上へ

問 市役所西側の門扉の閉鎖理由②利便性や歩行が困難な方等に配慮した検討は③歩行者等に限定した利用を④地域・地区センターの休館日の変更の要望がある⑤劣化した市発行カードの引き換えを。

答 ①自転車と歩行者の接触など危険性排除のため②ポール等の設置も検討③看板設置は効果がなかった。現状では難しい④運営協議会正副会長会議等で意向を伺い協議⑤引替交付が可能となる対応を検討。

孤立死ゼロへ、高齢者福祉の充実を

問 ①老人福祉法は「生きがい」の持てる健全で安らかな生活を保障」となっている。市長の考えは②介護保険料導入時と現在のとの比③利用料の軽減を④低所得者が入る特養ホームを⑤南部にシルバー相談室を。

答 ①高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるようサポートするまちづくりを推進②基準月額で2925円増③減免は困難④難しい⑤地域包括ケアシステムの中で一体的に検討。



宮坂 良子

子どもの権利条約活かし児童虐待ゼロへ

問 ①児童虐待ゼロへの施策は②政府緊急対策と市でのワーカー1人受け持ち数③対策ワーカーの増員を④妊娠前から子育て期までの切れ目ない支援策を⑤子ども家庭支援センターの役割は重要。職員増員を。

答 ①子ども家庭支援センター事業計画の中で対応強化を検討②政府目標40ケース、市は約100件③検討する④子育て世代包括支援センター機能を関係機関と連携し実現していく⑤国の動向等を踏まえ検討する。